

授業科目 介護実習指導Ⅲ

【担当教員名】 岡田 史、大槻美智子 宮下榮子、渡邊敏文		対象学年	2・4	対象学科	社会（介護）
		開講時期	2年後期・4年前期	必修・選択	介護福祉コース必修選択
		単位数	1	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：GLO＞】 実習Ⅰ、Ⅱにおける学びを基盤として、介護実習Ⅲ、介護実習Ⅳにおける実習目的や課題の明確化を図り、統合的な学習をおこなう。介護福祉士としての福祉観を深める。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】 1、介護専門職の役割について理解を深める。 2、介護過程の必要性を理解し、個別援助計画を立案できる。 3、訪問介護の援助プロセス及び関連職種との連携について理解する。 4、訪問介護における介護過程を理解し、個別援助計画を立案し、サービス提供責任者の責務について理解できる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
				番号	
	1 オリエンテーション 2 介護実習Ⅰ・Ⅱを振り返り介護実習Ⅲの計画を立てる（目標を明確にする）。 3 事例を用いて介護過程について深く学ぶ。 4 介護過程に沿ったモニタリングや記録の手法を確認する。 5 介護過程に沿ったモニタリングや記録の手法を確認する。 6 利用者の状況についてアセスメントプレゼンテーションができる。 7 利用者の状況についてアセスメントプレゼンテーションができる。 8 訪問介護の実際について事例を通して学ぶ。 9 在宅生活者の状況について事例を通して理解する。 10 在宅生活を維持するための、社会資源について理解できる。 11 訪問介護計画作成におけるアセスメントについて学ぶ。 12 訪問介護計画作成におけるアセスメントについて学ぶ。 13 訪問介護計画作成の手法について学ぶ。 14 訪問介護実習における目標を明らかにする。 15 訪問介護におけるモニタリングや記録について学ぶ。			演習2年後期 演習2年後期 演習2年後期 演習2年後期 演習2年後期 演習2年後期 演習2年後期 演習4年前期 演習4年前期 演習4年前期 演習4年前期 演習4年前期 演習4年前期 演習4年前期	
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)		4年前期 医歯薬出版株式会社「介護福祉士のための訪問介護」			
参考書		必要時推薦します。			
その他の資料		随時配布します。			
【評価方法】 出席及び受講態度とレポート		【履修上の留意点】 演習が中心なので、授業を聞くだけではなく、授業に参画する気持ちで出席してください。			